

調査結果の概要

I 発育状態

1 体格の平均値

平成30年度の幼稚園、小学校、中学校及び高等学校における幼児、児童及び生徒の身長及び体重（平均値。以下同じ。）を年齢別、男女別に見ると次のとおりである。

単位：cm、kg

区 分		男 子		女 子	
		身長	体重	身長	体重
幼稚園	5歳	110.1	18.8	109.4	18.4
	6歳	116.4	21.2	115.3	20.7
小学校	7歳	122.0	23.7	121.0	22.9
	8歳	127.6	26.7	127.0	26.1
	9歳	133.2	29.7	133.4	30.0
	10歳	138.2	33.2	139.9	33.2
	11歳	144.9	38.0	145.6	37.5
中学校	12歳	152.3	43.2	151.5	43.2
	13歳	159.8	48.5	154.6	47.0
	14歳	165.2	53.5	156.2	49.6
高等学校	15歳	168.0	57.0	157.3	51.3
	16歳	169.6	58.9	157.1	52.2
	17歳	170.3	61.8	158.0	52.9

(1) 身長

① 男子

- ・前年度と比べると、12歳で同値、9歳、11歳、14歳及び16歳で増加している。
- ・全国平均値と比べると、13歳で同値、その他の全ての年齢で下回っている。

② 女子

- ・前年度と比べると、6歳で同値、5歳、8歳から10歳及び15歳で増加している。
- ・全国平均値と比べると、5歳及び9歳で同値、15歳及び17歳で上回っている。（表1）

表1 年齢別 身長の平均値

単位：cm

区 分		男 子			女 子		
		愛知県		全国	愛知県		全国
		平成30年度	平成29年度		平成30年度	平成29年度	
幼稚園	5歳	110.1	110.4	110.3	109.4	109.2	109.4
	6歳	116.4	116.5	116.5	115.3	115.3	115.6
小学校	7歳	122.0	122.2	122.5	121.0	121.3	121.5
	8歳	127.6	128.1	128.1	127.0	126.6	127.3
	9歳	133.2	133.1	133.7	133.4	133.1	133.4
	10歳	138.2	138.8	138.8	139.9	139.0	140.1
	11歳	144.9	144.7	145.2	145.6	146.2	146.8
中学校	12歳	152.3	152.3	152.7	151.5	151.7	151.9
	13歳	159.8	159.9	159.8	154.6	154.7	154.9
	14歳	165.2	165.1	165.3	156.2	156.3	156.6
高等学校	15歳	168.0	168.2	168.4	157.3	156.7	157.1
	16歳	169.6	169.5	169.9	157.1	157.4	157.6
	17歳	170.3	170.6	170.6	158.0	158.1	157.8

(2) 体重

① 男子

- ・前年度と比べると、6歳で同値、11歳及び14歳で増加している。
- ・全国平均値と比べると、全ての年齢で下回っている。

② 女子

- ・前年度と比べると、5歳及び6歳で同値、8歳から10歳及び12歳から17歳で増加している。
- ・全国平均値と比べると、9歳及び17歳で同値、その他の全ての年齢で下回っている。

(表2)

表2 年齢別 体重の平均値

単位：kg

区 分		男 子			女 子		
		愛知県		全国	愛知県		全国
		平成30年度	平成29年度	平成30年度	平成30年度	平成29年度	平成30年度
幼稚園	5歳	18.8	18.9	18.9	18.4	18.4	18.5
	6歳	21.2	21.2	21.4	20.7	20.7	20.9
小学校	7歳	23.7	23.8	24.1	22.9	23.3	23.5
	8歳	26.7	27.1	27.2	26.1	25.9	26.4
	9歳	29.7	30.3	30.7	30.0	29.4	30.0
	10歳	33.2	33.8	34.1	33.2	33.1	34.1
	11歳	38.0	37.7	38.4	37.5	38.3	39.1
中学校	12歳	43.2	43.4	44.0	43.2	42.8	43.7
	13歳	48.5	48.6	48.8	47.0	46.7	47.2
	14歳	53.5	53.1	54.0	49.6	49.4	49.9
高等学校	15歳	57.0	58.2	58.6	51.3	50.9	51.6
	16歳	58.9	59.7	60.6	52.2	51.8	52.5
	17歳	61.8	62.2	62.4	52.9	52.9	52.9

(3) 男女の比較

男子と女子を比較すると、身長・体重とも12歳までは大きな差はないが、13歳を過ぎると、男子が女子を大きく上回っている。男女差が最も大きくなるのは、身長は16歳、体重は17歳となっている。(身長差12.5cm、体重差8.9kg) (表3、図1)

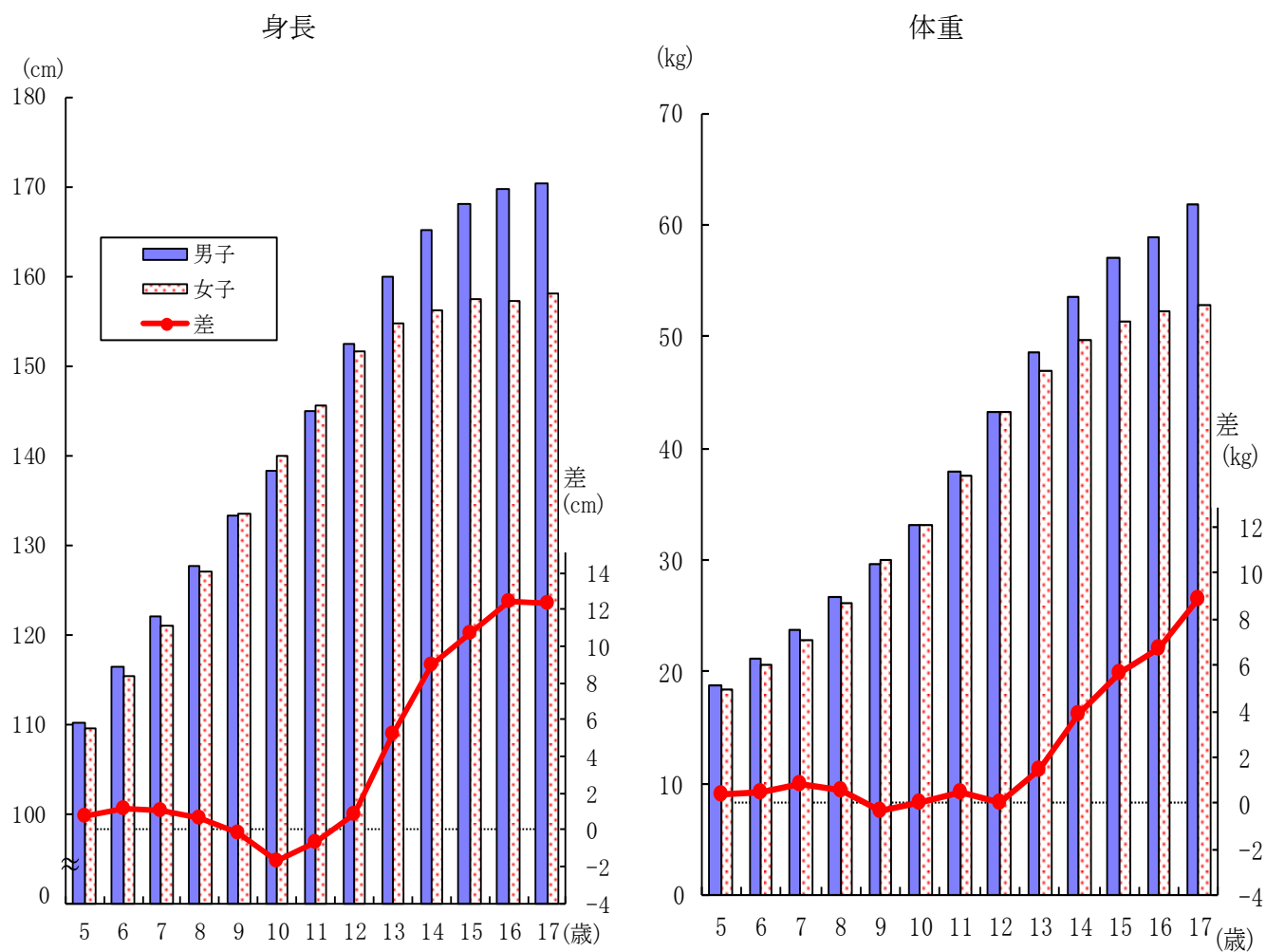
表3 身長・体重の年齢別平均値

単位：cm、kg

区分		男子				女子				男女差	
		身長	年齢間差	体重	年齢間差	身長	年齢間差	体重	年齢間差	身長	体重
幼稚園	5歳	110.1	—	18.8	—	109.4	—	18.4	—	0.7	0.4
	6歳	116.4	6.3	21.2	2.4	115.3	5.9	20.7	2.3	1.1	0.5
小学校	7歳	122.0	5.6	23.7	2.5	121.0	5.7	22.9	2.2	1.0	0.8
	8歳	127.6	5.6	26.7	3.0	127.0	6.0	26.1	3.2	0.6	0.6
	9歳	133.2	5.6	29.7	3.0	133.4	6.4	30.0	3.9	△0.2	△0.3
	10歳	138.2	5.0	33.2	3.5	139.9	6.5	33.2	3.2	△1.7	0.0
	11歳	144.9	6.7	38.0	4.8	145.6	5.7	37.5	4.3	△0.7	0.5
中学校	12歳	152.3	7.4	43.2	5.2	151.5	5.9	43.2	5.7	0.8	0.0
	13歳	159.8	7.5	48.5	5.3	154.6	3.1	47.0	3.8	5.2	1.5
	14歳	165.2	5.4	53.5	5.0	156.2	1.6	49.6	2.6	9.0	3.9
高等学校	15歳	168.0	2.8	57.0	3.5	157.3	1.1	51.3	1.7	10.7	5.7
	16歳	169.6	1.6	58.9	1.9	157.1	△0.2	52.2	0.9	12.5	6.7
	17歳	170.3	0.7	61.8	2.9	158.0	0.9	52.9	0.7	12.3	8.9

注：△は減少を示す。以下の各表についても同じ。

図1 年齢別・男女別の平均値



注：図1中の差は、男子から女子を引いたものである。

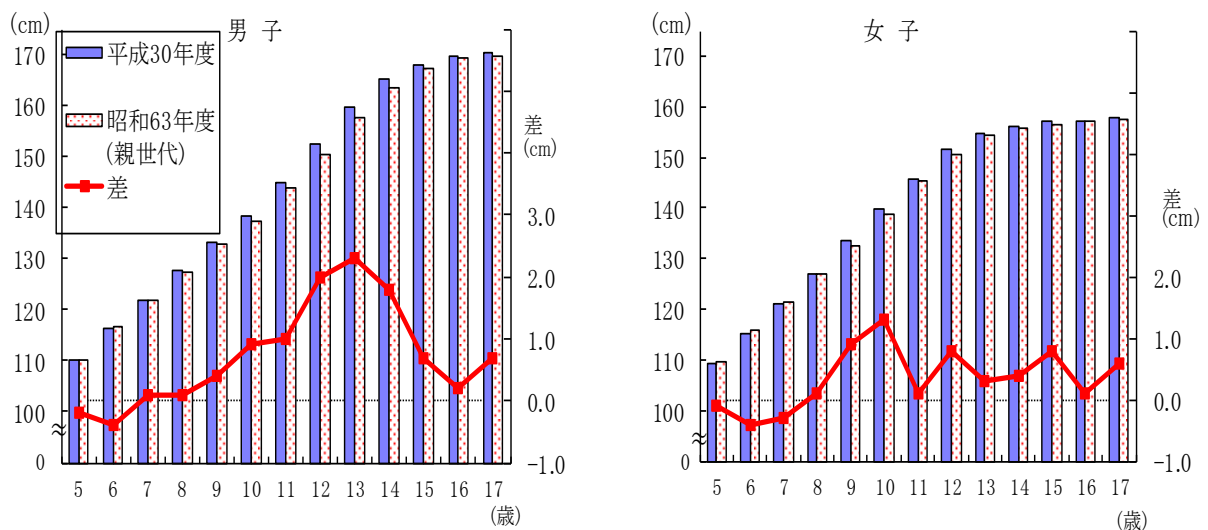
2 30年前（親世代）との体格の比較

(1) 身長・体重の比較

平成30年度の平均値を30年前の昭和63年度（親世代）と比較すると、最も差がある年齢は、身長は、男子では13歳で2.3cm、女子では10歳で1.3cmそれぞれ高くなっている。体重は、男子では15歳で1.3kg軽く、女子では9歳で0.8kg重く、11歳で0.8kg軽くなっている。

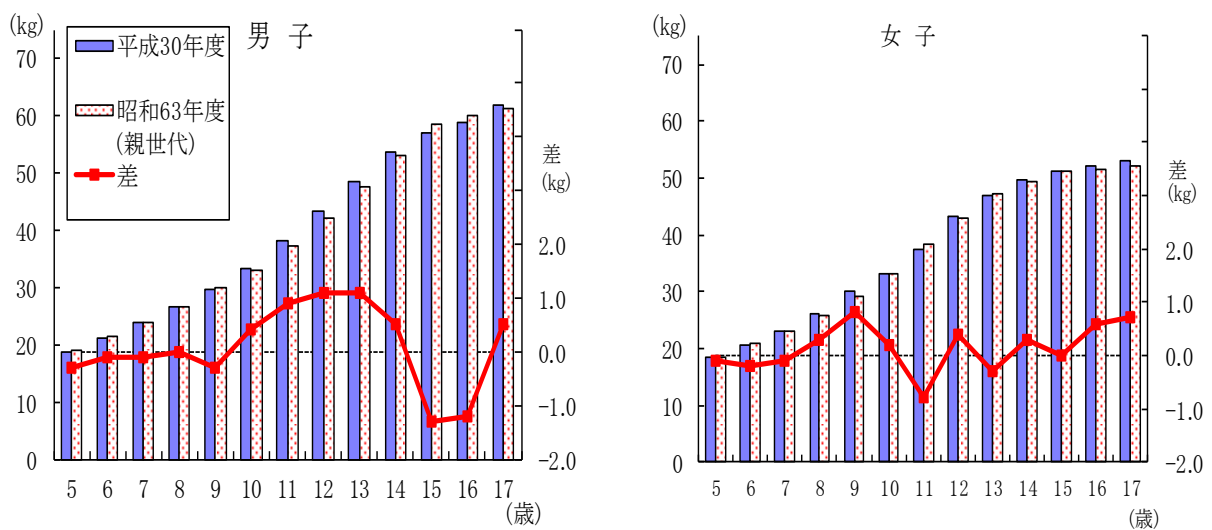
(図2、図3)

図2 身長の平均値 30年前（親世代）との比較



注：図2中の差は、平成30年度から昭和63年度を引いたものである。図3について同じ。

図3 体重の平均値 30年前（親世代）との比較



3 17歳の年間発育量と30年前（親世代）との比較

(1) 身長

17歳（平成12年度生まれ）の5歳時からの年間発育量をみると、男子は12歳時に、女子は9歳時に最大となっており、最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が3歳早くなっている。

30年前調査（親世代）の17歳（昭和45年度生まれ）と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代の12歳時と同じとなっており、年間発育量は6歳、7歳、10歳、11歳から13歳及び16歳の各年齢で親の世代を上回っている。女子は発育量が最大となる時期は親の世代の10歳より1歳早くなっており、5歳、6歳、8歳、9歳、14歳及び16歳の各年齢で親の世代を上回っている。（図4、表4）

図4 平成12年度生まれと昭和45年度生まれ（親世代）の者の年間発育量の比較（身長）

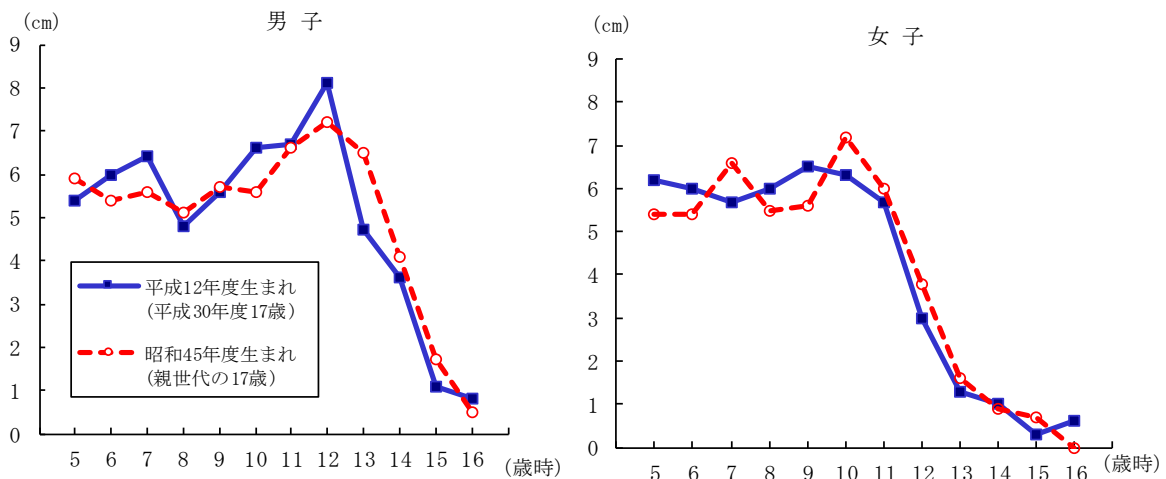


表4 平成12年度生まれと昭和45年度生まれ（親世代）の者の年間発育量の比較（身長）

単位：cm

区分	年齢	男子					女子				
		平成12年度生まれ (平成30年度17歳)	(A) 年間 発育量	昭和45年度 生まれ (親世代の 17歳)	(B) 年間 発育量	(差) (A)-(B)	平成12年度 生まれ (平成30年度 17歳)	(A) 年間 発育量	昭和45年度 生まれ (親世代の 17歳)	(B) 年間 発育量	(差) (A)-(B)
幼稚園	5歳時	110.5	5.4	109.7	5.9	△0.5	109.4	6.2	108.7	5.4	0.8
小学校	6歳時	115.9	6.0	115.6	5.4	0.6	115.6	6.0	114.1	5.4	0.6
	7歳時	121.9	6.4	121.0	5.6	0.8	121.6	5.7	119.5	6.6	△0.9
	8歳時	128.3	4.8	126.6	5.1	△0.3	127.3	6.0	126.1	5.5	0.5
	9歳時	133.1	5.6	131.7	5.7	△0.1	133.3	6.5	131.6	5.6	0.9
	10歳時	138.7	6.6	137.4	5.6	1.0	139.8	6.3	137.2	7.2	△0.9
	11歳時	145.3	6.7	143.0	6.6	0.1	146.1	5.7	144.4	6.0	△0.3
中学校	12歳時	152.0	8.1	149.6	7.2	0.9	151.8	3.0	150.4	3.8	△0.8
	13歳時	160.1	4.7	156.8	6.5	△1.8	154.8	1.3	154.2	1.6	△0.3
	14歳時	164.8	3.6	163.3	4.1	△0.5	156.1	1.0	155.8	0.9	0.1
高等学校	15歳時	168.4	1.1	167.4	1.7	△0.6	157.1	0.3	156.7	0.7	△0.4
	16歳時	169.5	0.8	169.1	0.5	0.3	157.4	0.6	157.4	0.0	0.6
	17歳時	170.3	-	169.6	-	-	158.0	-	157.4	-	-

注：1 年間発育量とは、例えば平成12年度生まれの「5歳時」の身長の年間発育量を算出する場合、平成19年度調査の6歳の者の身長平均値から平成18年度調査の5歳の者の身長平均値を引いたものである。

表5について同じ。

2 網掛けの部分は、最大の年間発育量及び差を示す。表5について同じ。

(2) 体重

17歳（平成12年度生まれ）の5歳時からの年間発育量をみると、男子は12歳時に、女子は11歳時に最大となっており、最大発育量を示す年齢は、男子に比べて女子が1歳早くなっている。

30年前調査（親世代）の17歳（昭和45年度生まれ）と比較すると、男子は発育量が最大となる時期は親の世代の14歳時より2歳早くなっており、5歳から7歳、9歳、10歳、12歳及び16歳の各年齢で親の世代を上回っている。女子は発育量が最大となる時期は親の世代と同じとなっており、5歳、6歳、8歳及び16歳の各年齢で親の世代を上回っている。

（図5、表5）

図5 平成12年度生まれと昭和45年度生まれ（親世代）の者の年間発育量の比較（体重）

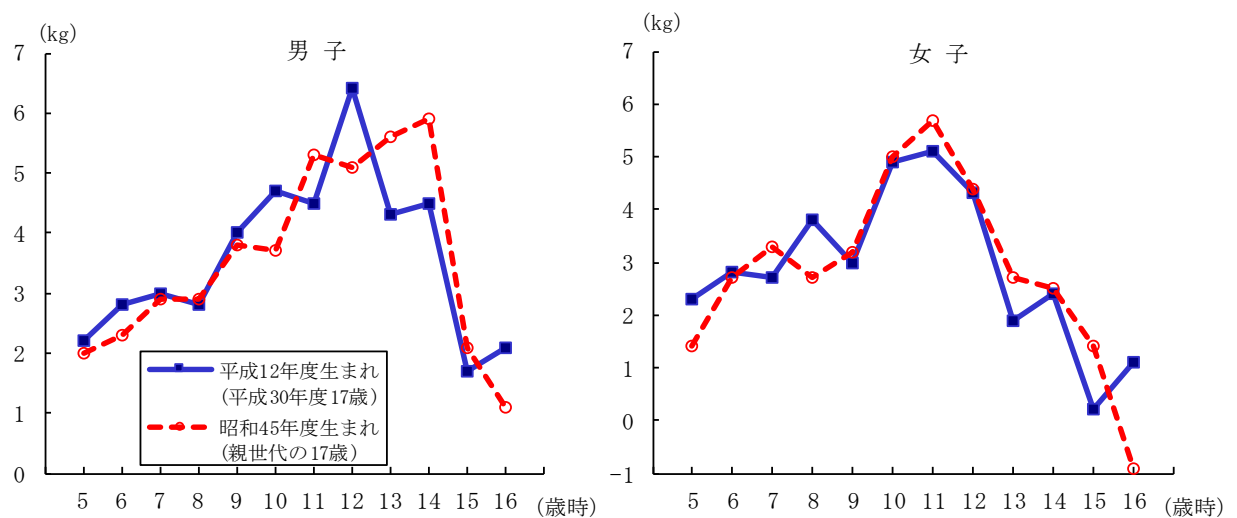


表5 平成12年度生まれと昭和45年度生まれ（親世代）の者の年間発育量の比較（体重）

単位：kg

区分	年齢	男子				女子					
		平成12年度生まれ (平成30年度17歳)	年(A)間 発育量	昭和45年度 生まれ (親世代の 17歳)	年(B)間 発育量	差 (A)-(B)	平成12年度 生まれ (平成30年度 17歳)	年(A)間 発育量	昭和45年度 生まれ (親世代の 17歳)	年(B)間 発育量	差 (A)-(B)
幼稚園	5歳時	18.8	2.2	18.6	2.0	0.2	18.4	2.3	18.1	1.4	0.9
小学校	6歳時	21.0	2.8	20.6	2.3	0.5	20.7	2.8	19.5	2.7	0.1
	7歳時	23.8	3.0	22.9	2.9	0.1	23.5	2.7	22.2	3.3	△0.6
	8歳時	26.8	2.8	25.8	2.9	△0.1	26.2	3.8	25.5	2.7	1.1
	9歳時	29.6	4.0	28.7	3.8	0.2	30.0	3.0	28.2	3.2	△0.2
	10歳時	33.6	4.7	32.5	3.7	1.0	33.0	4.9	31.4	5.0	△0.1
中学校	11歳時	38.3	4.5	36.2	5.3	△0.8	37.9	5.1	36.4	5.7	△0.6
	12歳時	42.8	6.4	41.5	5.1	1.3	43.0	4.3	42.1	4.4	△0.1
	13歳時	49.2	4.3	46.6	5.6	△1.3	47.3	1.9	46.5	2.7	△0.8
高等学校	14歳時	53.5	4.5	52.2	5.9	△1.4	49.2	2.4	49.2	2.5	△0.1
	15歳時	58.0	1.7	58.1	2.1	△0.4	51.6	0.2	51.7	1.4	△1.2
	16歳時	59.7	2.1	60.2	1.1	1.0	51.8	1.1	53.1	△0.9	2.0
	17歳時	61.8	-	61.3	-	-	52.9	-	52.2	-	-

II 健康状態

学校種類別に疾病・異常の被患率等をみると、すべての学校種類で「むし歯（う歯）」の割合が高くなっており、小学校、中学校及び高等学校で「裸眼視力 1.0 未満の者」及び「鼻・副鼻腔疾患」の被患率が、他の疾病に比べ高くなっている。（表 6）

表 6 学校種類別 疾病・異常の被患率等

区分	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	
60%以上			裸眼視力 1.0 未満の者	裸眼視力 1.0 未満の者	
40%以上～50%未満				むし歯（う歯）	
30～40		むし歯（う歯） 裸眼視力 1.0 未満の者			
20～30	むし歯（う歯）		むし歯（う歯）		
10～20		鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	鼻・副鼻腔疾患	
1～10	8～10		歯・口腔のその他の疾病・異常		
	6～8			歯列・咬合	
	4～6	歯列・咬合	眼の疾病・異常 アトピー性皮膚炎 歯列・咬合	歯肉の状態 アトピー性皮膚炎 歯・口腔のその他の疾病・異常 歯垢の状態	歯垢の状態 歯肉の状態 アトピー性皮膚炎
	2～4	口腔咽喉頭疾患・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常	耳疾患 ぜん息 歯肉の状態 歯垢の状態 心電図異常	眼の疾病・異常 心電図異常 蛋白検出の者 耳疾患 ぜん息	蛋白検出の者 眼の疾病・異常 心電図異常 耳疾患 歯列・咬合 栄養状態
	1～2	アトピー性皮膚炎 蛋白検出の者 その他の皮膚疾患	口腔咽喉頭疾患・異常 栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の状態	栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の状態 心臓の疾病・異常	ぜん息 せき柱・胸郭・四肢の状態
0.1～1	0.5～1	眼の疾病・異常 歯垢の状態 歯肉の状態 心臓の疾病・異常	蛋白検出の者 難聴 心臓の疾病・異常 その他の皮膚疾患	口腔咽喉頭疾患・異常 顎関節	心臓の疾病・異常 口腔咽喉頭疾患・異常 歯・口腔のその他の疾病・異常
	0.1～0.5	ぜん息 鼻・副鼻腔疾患 言語障害 耳疾患 栄養状態 せき柱・胸郭・四肢の状態	腎臓疾患 言語障害 顎関節 尿糖検出の者	難聴 腎臓疾患 その他の皮膚疾患 尿糖検出の者 言語障害	顎関節 腎臓疾患 難聴 尿糖検出の者 その他の皮膚疾患
0.1%未満	腎臓疾患			結核 言語障害	

注：1 「口腔咽喉頭疾患・異常」とは、アデノイド、扁桃肥大、咽頭炎、喉頭炎、扁桃炎、音声言語異常のある者等である。

2 「歯・口腔のその他の疾病・異常」とは、口角炎、口唇炎、口内炎、唇裂、口蓋裂、舌小帯異常、唾石、癒合歯、要注意乳歯等のある者等である。

3 「心電図異常」とは、心電図検査の結果、異常と判定された者である。

4 「その他の皮膚疾患」とは、伝染性皮膚疾患、毛髪疾患、尋常性白斑、みずいぼ（伝染性軟属腫）等、アトピー性皮膚炎以外の皮膚疾患と判定された者である。

5 幼稚園の「裸眼視力 1.0 未満の者」については、疾病・異常被患率等の標準誤差が 5 以上、受検者数が 100 人未満または回答校が 1 校以下のいずれかに該当するため、統計数値を公表しない。

Ⅲ 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

1 肥満傾向児の出現率

(1) 男子

年齢別にみると、11歳が11.33%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、5歳、6歳及び11歳で上回っている。

(2) 女子

年齢別にみると、9歳が8.84%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、9歳、13歳、14歳で上回っている。 (表7)

2 痩身傾向児の出現率

(1) 男子

年齢別にみると、15歳が3.76%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、5歳から9歳及び12歳から17歳で上回っている。

(2) 女子

年齢別にみると、13歳が4.47%と最も高くなっている。
全国平均と比べると、5歳、9歳から11歳、13歳及び15歳で上回っている。 (表7)

表7 年齢別 肥満傾向児及び痩身傾向児の出現率

単位：%

区 分		男子				女子			
		肥満傾向児		痩身傾向児		肥満傾向児		痩身傾向児	
		愛知県	全国	愛知県	全国	愛知県	全国	愛知県	全国
幼稚園	5歳	3.51	2.58	0.30	0.27	2.02	2.71	0.62	0.35
	6歳	5.04	4.51	0.44	0.31	3.73	4.47	0.38	0.63
小学校	7歳	5.87	6.23	0.51	0.39	3.85	5.53	0.52	0.53
	8歳	6.70	7.76	1.38	0.95	5.07	6.41	0.99	1.19
	9歳	6.75	9.53	2.34	1.71	8.84	7.69	2.23	1.69
	10歳	7.36	10.11	2.51	2.87	4.47	7.82	4.36	2.65
	11歳	11.33	10.01	2.72	3.16	6.90	8.79	3.35	2.93
中学校	12歳	8.62	10.60	2.89	2.79	7.31	8.45	3.47	4.18
	13歳	7.98	8.73	3.04	2.21	7.66	7.37	4.47	3.32
	14歳	7.88	8.36	2.72	2.18	7.27	7.22	2.42	2.78
高等学校	15歳	8.37	11.01	3.76	3.24	6.22	8.35	2.50	2.22
	16歳	7.91	10.57	2.89	2.78	5.93	6.93	1.50	2.00
	17歳	8.91	10.48	3.44	2.38	5.93	7.94	1.14	1.57

注：肥満（痩身）傾向児とは、性別・年齢別・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上（-20%以下）の者である。

肥満度 = (実測体重 - 身長別標準体重) / 身長別標準体重 × 100 (%)